

記者発表（資料配布）				
月／日 （曜日）	担当課 班 名	T E L	発表者名 （担当者名）	その他の配付先 （時 間）
7／29 （水） 10時00分	環境整備課 循環型社会推進班	078-341-7711（内3352） 078-362-3279（直通）	環境整備課長 正賀 充 （循環型社会推進班長 菅野 浩樹）	

レジ袋削減の取組結果と今後の取組について

「ひょうごレジ袋削減推進会議^{*1}」（平成19年6月設立）が定めた「新・レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針^{*2}」（平成24年4月策定）により、レジ袋の削減目標（平成25年度）の達成に向け、関係者が連携して取組を進めてきました。

その結果、参加団体^{*3}の店舗当たりのレジ袋使用枚数は減少し、目標は概ね達成しました。今後もレジ袋削減の取組がさらに県民に浸透していくよう、取組を継続していきます。

記

1 取組結果について

参加団体の店舗数の増加により全体の使用枚数は増加したが、店舗当たりのレジ袋使用枚数は減少しており、目標設定時（平成22年度）の店舗数で調整を行うと、全体の削減枚数は5,799万枚、目標達成率は97%となる（表1）。

このことから、「新・レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」の目標年度・平成25年度の目標は概ね達成したと考えられる。

表1 新指針目標6,000万枚に対する削減状況

平成22年度 （新指針の基準年度）		H25年度（新指針の目標年度）						
参加団体の店舗数	①使用枚数（万枚）	参加団体の店舗数	使用枚数（万枚）		削減枚数（万枚）		⑤削減目標枚数（万枚）	目標達成率（%）（④÷⑤）
			②実績値	③調整後	実績値（①－②）	④調整後（①－③）		
1,934	62,954	2,193	63,739	57,155	△785	5,799	6,000	97

2 今後の取組について

消費者によるマイバッグの持参や各業界が自主的に取り組むレジ袋削減対策等が進み、店舗当たりのレジ袋使用枚数は減少し、レジ袋削減の取組は広く県民に浸透してきている。

今後も「ひょうごレジ袋削減推進会議」において情報交換を行うとともに、「環境にやさしいマイバッグ運動」（（公財）ひょうご環境創造協会）と連携しつつ、取組を継続していく。

※1 事業者、消費者関係団体、行政等で構成するレジ袋削減対策を推進する任意組織

※2 「レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」（平成20年1月）を改訂した活動指針

※3 生活協同組合コープこうべ、日本チェーンストア協会関西支部、（一社）日本フランチャイズチェーン協会、近畿百貨店協会